



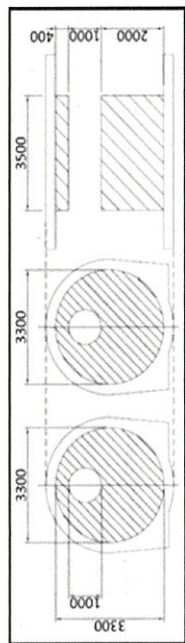
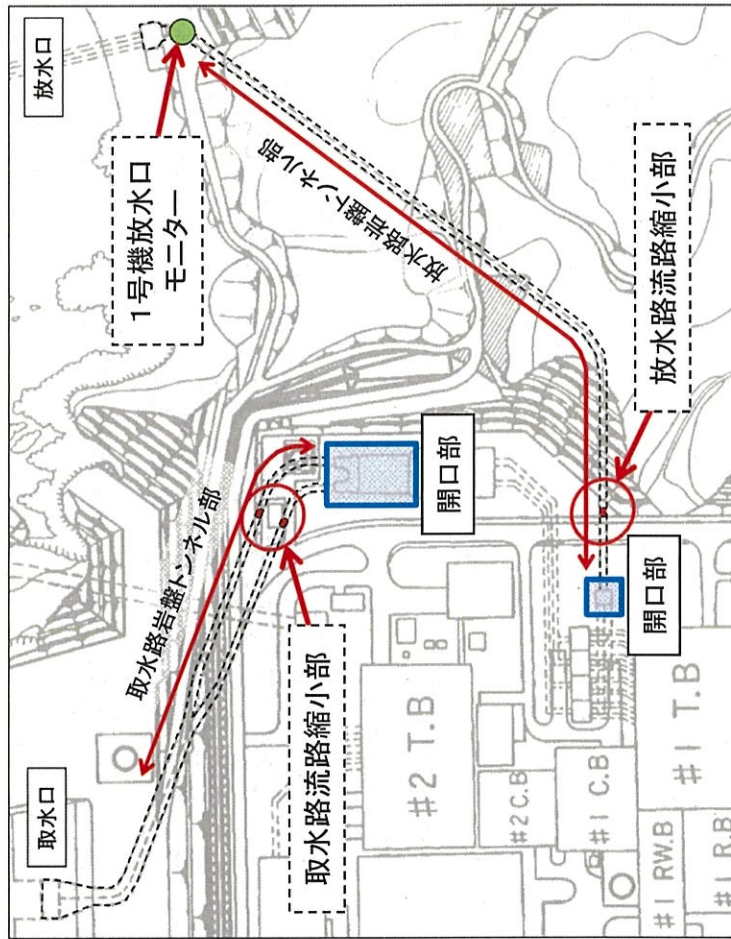
1号機流路縮小工事に伴う
1号機放水口モニタ一仮設運用について

平成29年2月21日

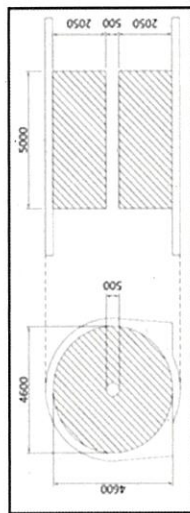
東北電力株式会社

1号機流路縮小工事概要について

- ・ 女川原子力発電所の津波対策を早期に確立する観点から、取放水路へ流入してくる津波の量を抑制し、開口部から敷地に津波が浸水することとを防止する流路縮小工事を実施するものです。なお、中長期的な対策について現在検討中。
- ・ 工事期間中は、作業に伴う放水路内の水位低下により1号機放水口モニター一での測定ができなくなることから、仮設の放水口モニターを設置する。



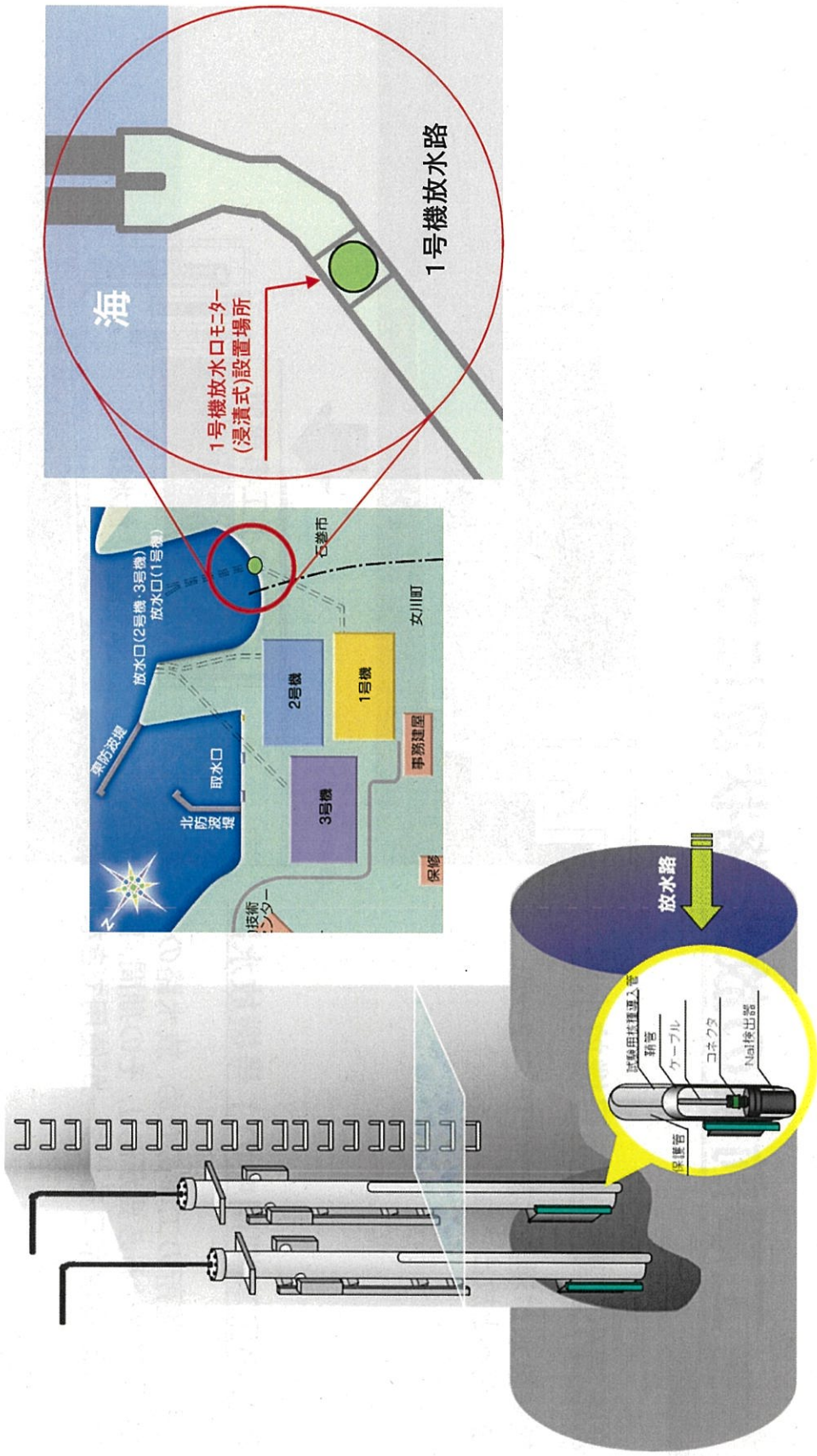
取水路の流路縮小部



放水路の流路縮小部

既設の1号機放水口モニターについて

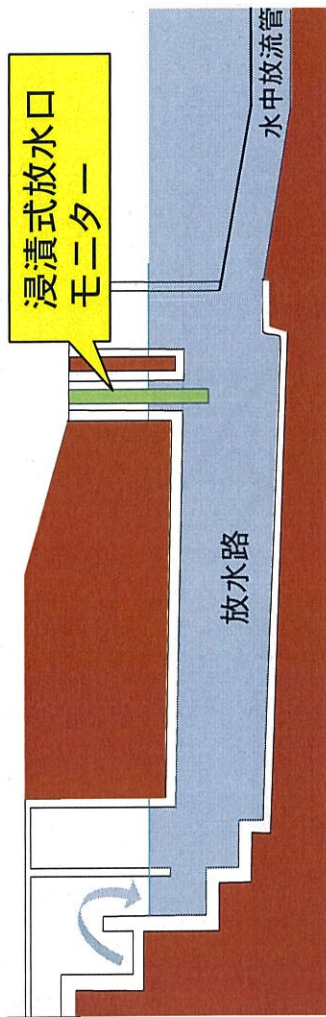
- 放水路に検出器を投入し、放水路の水を直接測定する浸漬式の放水口モニターを採用している。



工事前後の放水路状況について

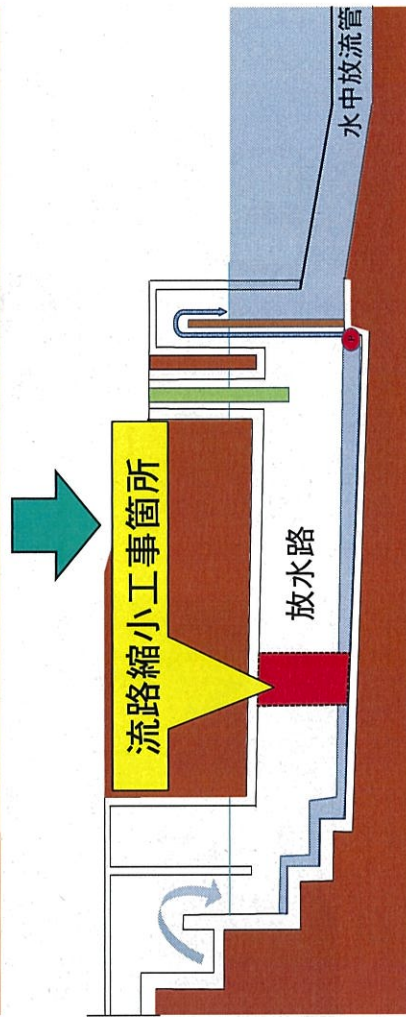
流路縮小工事前の1号機放水路

補機排水が浸漬式放水口モニターを通り海へと放出されている。



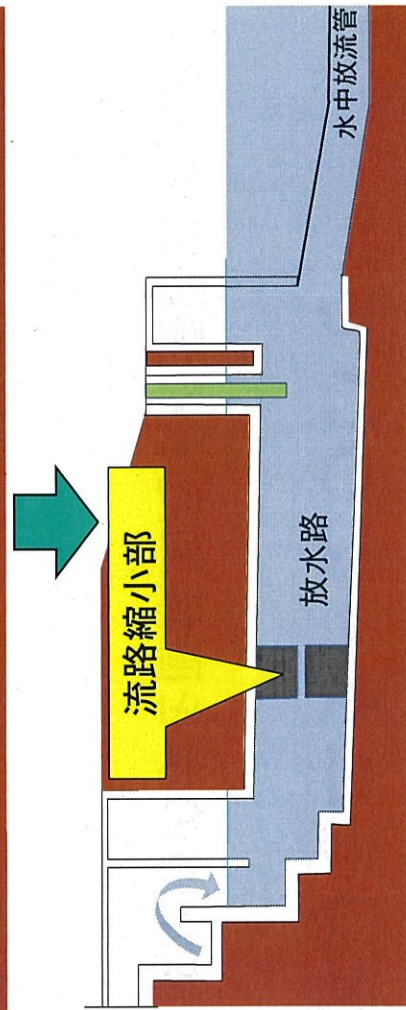
流路縮小工事期間中の1号機放水路

流量縮小箇所工事のため、放水路の水位を低下させる必要があり、その期間、既設の浸漬式放水口モニターが使用できなくなる。



流路縮小工事後の1号機放水路

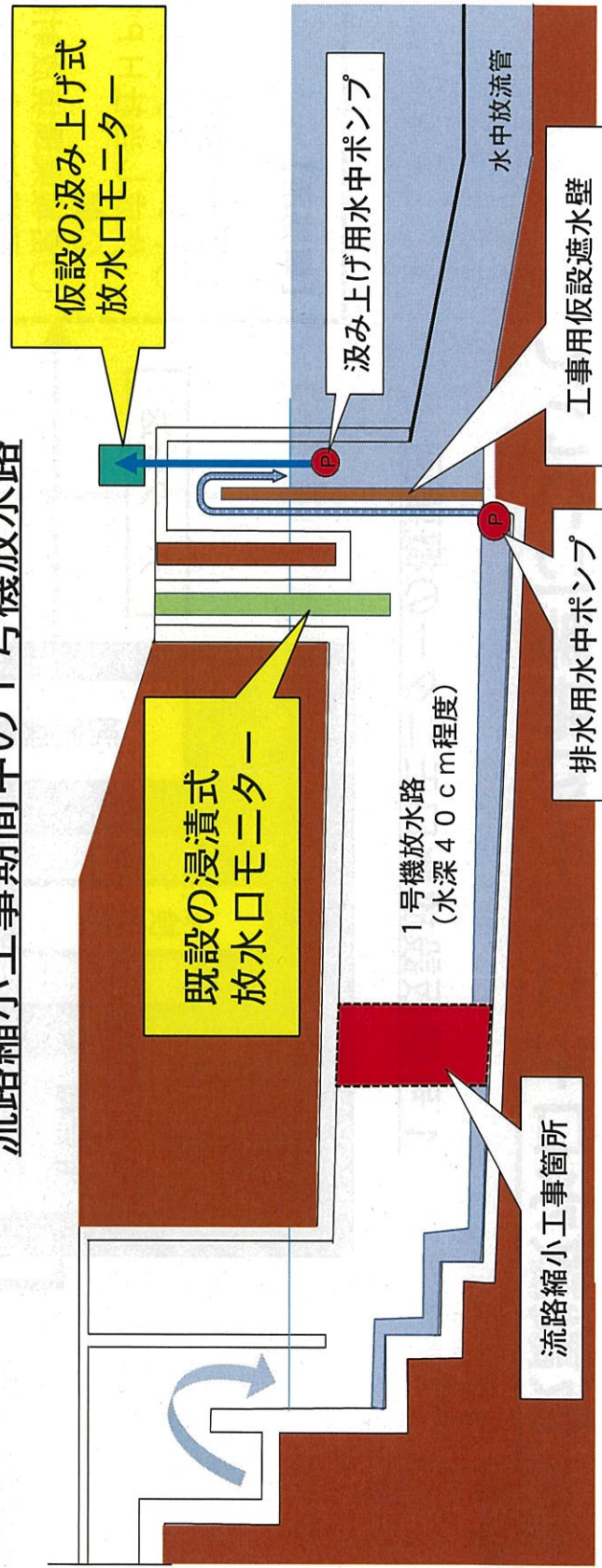
流路縮小工事終了後においては、放水路の水位は、工事前の水位に戻るため、既設の浸漬式放水口モニターに復旧する。



流路縮小工事期間中の放水口モニターについて

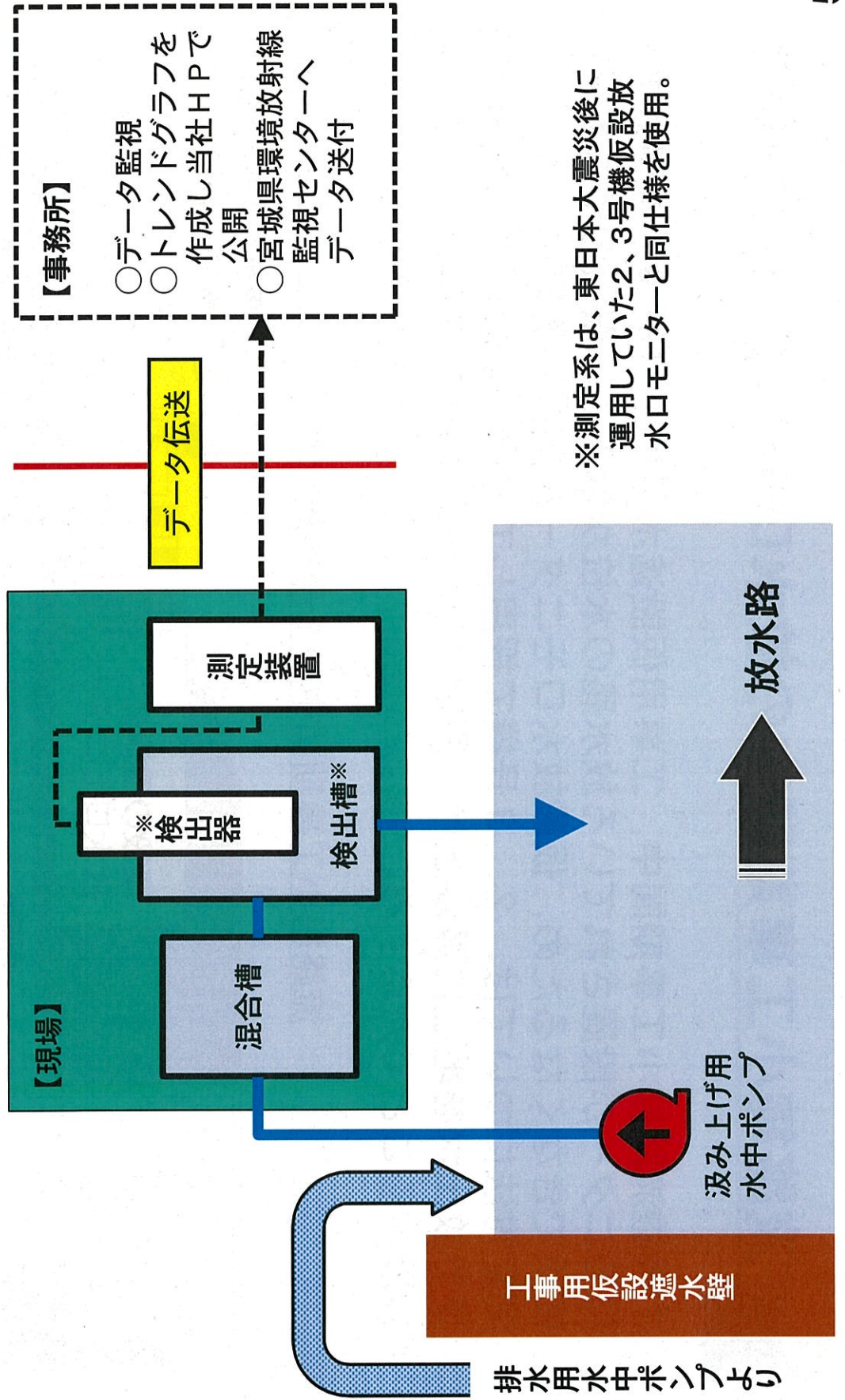
- ・ 1号機流路縮小工事期間中，工所用仮設遮水壁により既設の浸漬式放水口モニターが設置されている放水路の水位が低下し，既設のモニターが使用できなくなるため，仮設放水口モニターを設置し測定を行う。
- ・ 測定方法については，2，3号機で採用している汲み上げ式（水中ポンプで放出水を地上に汲み上げ，測定する方式）の仮設放水口モニターを設置することに対応する。

流路縮小工事期間中の1号機放水路



仮設放水水口モニターの概要について

1号機仮設放水水口モニターの概要図





仮設放水口モニターのデータ運用について

1号機流路縮小工事期間中の測定データについては、既設放水口モニターと同様の監視を行う。また、当社ホームページ公開については、営業日に1回の頻度でトレンドグラフの更新を行う対応とする。なお、事前に確認測定を実施する。

○監視方法

測定データを事務所まで伝送し、既設放水口モニターと同様の監視を行う。

○ホームページ公開

営業日に1回の頻度で測定データを確認のうえ、トレンドグラフの更新を行う。

○宮城県環境放射線監視センターへの伝送

営業日に1回、測定データを送付する。

○安全協定に基づくデータの取り扱い

仮設放水口モニターの測定値については、参考値として報告する予定。

